

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.282

令和元年(2019年)
5月1日発行



4月7日にオープンした「あめるんパーク」(城北市民運動公園屋内交流広場)
左上：外観 右上：乳幼児エリア 左下：多目的広場 右下：木育コーナー

目次

- ・ 3月定例会議会の概要等…………… P.2～P.3
- ・ 本会議の発言から…………… P.4～P.16
- ・ 特別委員会の報告・提言(要旨)…………… P.16
- ・ 常任委員会の活動状況…………… P.17
- ・ 常任委員会連合審査会…………… P.18～P.21
- ・ 審議結果、議員別賛否一覧…………… P.22～P.25
- ・ 常任委員会の要望事項…………… P.26～P.27
- ・ 都市間交流について・議会日誌…………… P.28

発行／金沢市議会

編集／議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/41004/index.html>

平成30年度 金沢市議会 3月定例会議の概要

平成30年度金沢市議会3月定例会議が、3月1日から22日までの22日間開催されました。

3月1日 議案上程・提案理由説明

初日1日には、天皇陛下御即位30年の賀詞の奉呈が全会一致で議決されました。その後、山野市長から、平成31年度予算案のほか、「金沢市における美しい眺望景観の形成に関する条例」案などが提案され、市政に対する所信とともに、提案理由の説明が行われました。

3月11日～13日 質疑・一般質問

11日の本会議では5人の議員が代表質問を行いました。12日及び13日には、13人の議員が質疑や一般質問を行いました。

3月14日 委員会審査

平成30年度補正予算関係議案等の審査を行うため、常任委員会が開催されました。

3月15日 補正関係討論・採決、委員会審査

平成30年度の補正予算関係議案の採決が行われ、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。その後、平成31

年度予算関係議案の審査を行うため、常任委員会が開催されました。

3月19日 常任委員会連合審査会

常任委員会による連合審査会が開催され、平成31年度予算関係議案の質疑が行われました。

3月20日 委員会審査(総括質疑・討論・採決)

平成31年度予算関係議案等の審査を行うため、常任委員会が開催されました。

3月22日 委員長報告・討論・採決

各常任委員会の委員長報告の後、討論・採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件は、全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。議員提出の議会議案6件は4件が可決、2件が否決され、請願5件はいずれも不採択となりました。その後、防災・安全対策特別委員会の委員長報告が行われました。

市長の施政方針(要旨)

活力あふれるまちづくり

価値創造拠点の整備並びに安原異業種工業団地及びいなほ工業団地の拡張整備に向け、それぞれ基本設計に着手する。また、中央卸売市場は、検討会の議論を踏まえ、現地で建てかえに必要な規模等について調査する。宿泊税は、まちなかにおける憩いの空間整備などに活用し、市民生活と調和した持続可能な観光の振興を目指す。

個性が輝く魅力づくり

市民サッカー場は、Jリーグ基準を満たす1万人収容の施設への再整備を進めるとともに、金沢マラソンは、新たにチャリティーランナー枠等を設けるなど、より魅力的な大会となるよう万全を期す。また、本市芸術文化の発信拠点となる金沢歌劇座のあるべき姿の検討を進めるほか、金沢21世紀美術館では、館内スタッフの増員等と合わせ、観覧料金を見直すこととし、総合受付等の充実のための大規模改修を行いたい。

未来を育む人づくり

幼児教育や保育の無償化に取り組むとともに、

保育需要の増加への対応や保育人材確保のための支援に努めるほか、幼児教育センター(仮称)の開設準備を進める。また、中央地区の小学校等の整備に向けた実施設計や田上小学校校下内に新たに建設する小学校の基本設計に着手するほか、小学校26校のエアコン整備について前倒して実施設計を行う。

安全で安心な暮らしづくり

国民健康保険料は、基金を活用して引き上げ率を極力抑制した。また、災害時に迅速な避難が困難な高齢者等の名簿の提供等を促進するための条例制定のほか、第二本庁舎における危機管理センターの開設に向けて、防災情報システムの整備を本格化させる。

協働と連携の絆づくり

観音町の旧町名復活を支援するとともに、国内初となるユネスコ創造都市ネットワークの分野別会議を10月に本市で開催する。また、市制施行130周年を迎えるため、記念事業を展開する。

令和元年度（平成31年度）金沢市予算概要

| | 令和元年度（平成31年度） | 平成30年度 | 増減率 |
|----------------------|-----------------|-----------------|-------|
| 一般会計 | 1,721億円 | 1,687億1,000万円 | 2.0% |
| 特別会計 ^(※1) | 955億7,264万9千円 | 929億1,095万7千円 | 2.9% |
| 企業会計 ^(※2) | 626億4,614万8千円 | 633億4,301万7千円 | △1.1% |
| 合計 | 3,303億1,879万7千円 | 3,249億6,397万4千円 | 1.6% |

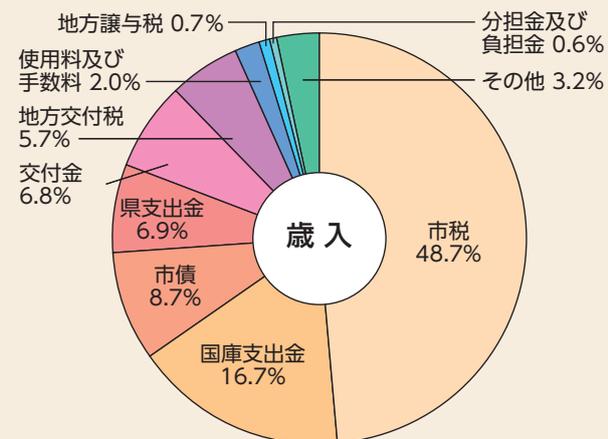
(※1) 国民健康保険費、後期高齢者医療費、介護保険費、市営地方競馬事業費など10特別会計の合計

(※2) ガス事業、水道事業、病院事業、中央卸売市場事業など8企業会計の合計

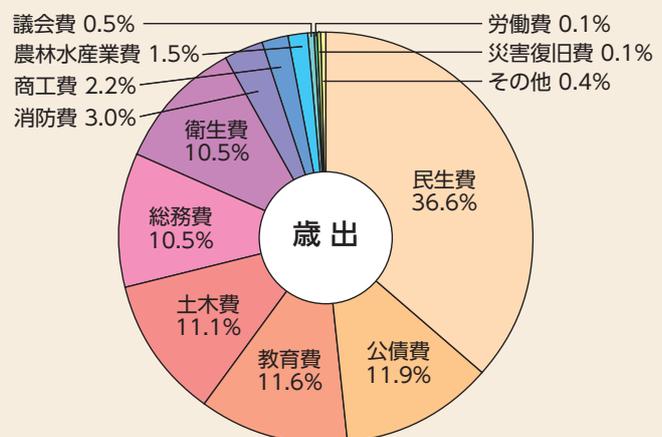
令和元年度（平成31年度）当初予算は、スポーツ文化の推進や建築文化の発信、地域コミュニティの充実と市民協働・広域連携の促進、生産性の向上と働き方改革の実現、未来を担う子ども施策の充実等を重点にして、「**新たな時代を拓き 明日の交流拠点都市を築く 重点戦略予算**」として編成されました。

令和元年度（平成31年度）一般会計予算 1,721億円

| | | |
|----|----------|---------------|
| 歳入 | 市 税 | 839億8,268万円 |
| | 地方譲与税 | 12億1,700万円 |
| | 交付金 | 116億1,100万円 |
| | 地方交付税 | 98億円 |
| | 分担金及び負担金 | 9億8,480万9千円 |
| | 使用料及び手数料 | 35億736万3千円 |
| | 国庫支出金 | 286億5,713万9千円 |
| | 県支出金 | 117億7,699万1千円 |
| | 市 債 | 150億3,420万円 |
| | そ の 他 | 55億2,881万8千円 |



| | | |
|----|-----------|---------------|
| 歳出 | 議 会 費 | 9億1,035万2千円 |
| | 総 務 費 | 180億7,504万2千円 |
| | 民 生 費 | 629億6,098万1千円 |
| | 衛 生 費 | 180億1,201万6千円 |
| | 労 働 費 | 2億2,938万9千円 |
| | 農林水産業費 | 26億3,237万6千円 |
| | 商 工 費 | 37億2,061万7千円 |
| | 土 木 費 | 189億9,684万5千円 |
| | 消 防 費 | 52億1,134万円 |
| | 教 育 費 | 200億2,500万2千円 |
| | 災 害 復 旧 費 | 8,970万6千円 |
| | 公 債 費 | 204億5,932万7千円 |
| | そ の 他 | 7億7,700万7千円 |



本会議の傍聴について

本会議は原則として公開されており、どなたでも傍聴できます。傍聴の受付は、本会議開会当日、市役所新館7階で行います。傍聴の定員は80人で、満席の場合は議場隣の全員協議会室において、庁内放送により傍聴いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

また、聴覚に障害のある方のために、手話通訳者の配置またはパソコンによる要約筆記も実施していますが、事前の申し込みが必要ですので、詳しくは議会事務局（TEL220-2388、FAX260-7190）までお問い合わせください。

3月定例月議会より傍聴席を改修したほか、新たに親子傍聴席を設置しました。新しくなった議場へ、ぜひとも傍聴にお越しください。



議場の様子



改修した傍聴席



新設した親子傍聴席



本会議の 発言から

3月11日(月)、12日(火)、13日(水)に、18人の議員が質疑や一般質問を行いました。

3月11日(月)

- ・高村 佳伸 議員 (自民党) P. 5
- ・中西 利雄 議員 (みらい) P. 6
- ・松井 純一 議員 (公明党) P. 7
- ・澤飯 英樹 議員 (金沢保守) P. 8
- ・森尾 嘉昭 議員 (日本共産党) P. 9

3月12日(火)

- ・松村 理治 議員 (自民党) P.10
- ・麦田 徹 議員 (みらい) P.10
- ・源野 和清 議員 (公明党) P.11
- ・喜多 浩一 議員 (自民党) P.11
- ・広田 美代 議員 (日本共産党) P.12
- ・熊野 盛夫 議員 (創生かなざわ) P.12
- ・中川 俊一 議員 (自民党) P.13

3月13日(水)

- ・野本 正人 議員 (自民党) P.13
- ・森 一敏 議員 (みらい) P.14
- ・玉野 道 議員 (創生かなざわ) P.14
- ・高 誠 議員 (自民党) P.15
- ・宮崎 雅人 議員 (会派みやび) P.15
- ・田中 展郎 議員 (自民党) P.16

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会
高村 佳伸 議員 【代表質問】

新年度予算について

問 金沢市観光会館として開館してから56年経過し老朽化が進む金沢歌劇座の建てかえを行うとの報道があった。改修か、建てかえかの判断はきわめて難しいと思うが、現在地で、芸術文化拠点として建てかえる方向で考えたいと金沢経済同友会に答えた市長の思いを聞く。

答 金沢経済同友会から、安全性の点も含めて建てかえの提案があったことから、将来的な方向性として建てかえに言及した。ただし、100億円を超える事業費が想定されるものの、制度上、国の補助金等が見込めないことから、財源の確保を最優先に予算の平準化も図りながら、時間をかけて検討していく必要があることを合わせて伝えている。新年度は、金沢歌劇座のあるべき姿について速やかに検討を進めたい。(市長)

市民生活と調和した観光の振興について

問 ひがし茶屋街や長町武家屋敷跡など特定の地域への観光客の集中を緩和するためには、他の魅力的な地域に足を運んでもらうことが重要である。重要伝統的建造物群保存地区のある寺町で現在整備している谷口吉郎・吉生記念金沢建築館にも観光客が訪れるようになると思うが、開館時期について聞く。

答 藩制時代や明治、大正の建築、金沢21世紀美術館などのさまざまな建築を発信していくことが文化都市・金沢のさらなる魅力発信につながるとしている。開館を契機に、国内外から多くの建築ファンが訪れることを想定していて、学生を含めた多くの人に来てもらいたいことから、7月26日に開館したいと考えている。(市長)

新たな産業創出について

問 第4次産業革命に対応した人材の育成は非常に重要であり、これまでも本市は、ITビジネスプラザ武蔵において小学生のプログラミング教室を開催するなどの取り組みを続けているが、今後のデジタル情報時代を担う人材の育成について、どのように取り組んでいくのか。

答 ITビジネスプラザ武蔵は、子どものプログラミング教育の活動拠点とし、プログラミング教育ディレクターを配置するなどさまざまな学びの機会を提供する一方、価値創造拠点では、卓越した知識や技能を持つ子どもの育成を目指し、産学官で連携して養成塾などを開催する。(市長)

未来を担う子ども施策の充実について

問 幼児教育・保育の無償化は、幼児教育を義務教育に準じるものとして、子どもに等しく保障する側面がある。そのため、現場の保育士が、どのように子どもと向きあい、何を教えるかといった幼児教育の充実に向けた支援は大変重要だが、その質をさらに向上させるために、どのように取り組むのか。

答 幼児教育の現場から強い思いを聞いていることから、幼児教育センターの開設準備に取りかかる。また、幼児教育の研究や連携に関する協定を締結した東京大学から助言を得るとともに、幼児教育の現場等と協働しながら、幼児教育のさらなる充実に向けた取り組みを進めていきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 新年度予算について
- 2 市民生活と調和した観光の振興について
- 3 ごみの減量化、資源化について
- 4 公共交通ネットワークの充実について
- 5 新たな産業創出について
- 6 未来を担う子ども施策の充実について



みらい金沢

中西 利雄 議員 【代表質問】

新年度予算について

問 「世界の交流拠点都市・金沢」の実現を目指す将来を見据えた予算だと考えるが、今回の新年度予算編成に当たり、特に苦心した点について聞く。

答 市税収入は増加傾向にあるが、社会保障費の増加、公共インフラの再整備等への対応が大きな課題となっている。事業の年度間調整や基金の活用等にこれまで以上に工夫を凝らし、重点戦略計画の着実な実践を初め、未来を担う子ども施策の充実、地域コミュニティの醸成・充実と市民協働、広域連携の促進、生産性向上と働き方改革のほか、スポーツ文化の推進や建築文化の発信などに重点を置いて、関連する施策の積極的な予算化に努めた。 (市長)

新しい交通システムについて

問 一昨年の検討委員会の提言で示された公共交通の利用促進や導入空間の確保、自動車交通への影響などの課題の解決に向け、現在、鋭意取り組んでいると思うが、新しい交通システムの導入に向けての今後の取り組みと、郊外における移動手手段の確保について聞く。

答 新しい交通システムを幹とする公共交通ネットワークの充実が、今後の重要なまちづくり施策だと考えており、新年度は交通実験による効果を検証し、市民意識の醸成に努めるほか、導入機種を選定に必要な金沢駅東西を結ぶルート等について技術的な検討を進めていく。郊外における移動手手段の確保については、地域住民が主体で運営するコミュニティバス等の支援制度の充実を図り、制度の活用地区を拡大するとともに、郊外の交通ネットワークの強化につなげていきたい。 (市長)

跡地について

問 昨年5月に日本銀行金沢支店が、施設の老朽化等を踏まえて移転、改築を表明し、駅西への移転に向けた用地確保の交渉を進めており、移転は5年後ぐらいではないかと言われているが、移転後の跡地に対する市長の考えを聞く。

答 跡地単体での活用も一つの考えだが、周辺を含めたエリアとして活用策を考えていくことも大切な視点だと考えている。まちなかのにぎわい創出の観点からも重要な場所であり、今後、地元を初めとする有識者の意見を聞く場を設け、中心市街地のさらなる活性化に向けて、市としてどのような関与ができるのか検討していきたい。 (市長)

インフラの老朽化問題と広域連携について

問 本年度、石川中央都市圏の各市町と公共施設の総合管理に関する連絡会を立ち上げ、新年度には、施設保有量の最適化など、将来コストの軽減に向けた推進計画を共同で策定することだが、検討状況と推進計画の内容について聞く。

答 圏域全体を網羅する公共施設分布図を作成し、施設の配置状況や構造、耐用年数等の把握に努めるとともに、施設の相互利用のあり方について研究を重ねてきた。新年度は、広域的視点での施設保有量の最適化などについて研究を進めていく。市域を越えた連携には難しい課題もあるが、各市町で知恵を出し合いながら計画の策定につなげていきたい。 (市長)

【質問事項】 (一括質問方式)

- 1 新年度予算について
- 2 まちづくりについて
- 3 国及び県との連携と副市長について



公明党金沢市議員会
松井 純一 議員 【代表質問】

新年度予算案について

問 山野市長の3期目のスタートとなる新年度予算は「新たな時代を拓き 明日の交流拠点都市を築く 重点戦略予算」と銘打ち、対前年度実質3.2%の増の積極予算となっているが、新年度予算への市長の思いを聞く。

答 平成から新しい元号へと変わり、市制施行130周年の節目の年を迎えることから、新たな時代を切り拓く予算とし、次の一手を着実に打つことで将来に向けた取り組みとしていきたいと考えており、文化都市金沢に厚みを持たせる積極的な予算化に努めた。(市長)

防災対策について

問 今春には国内メーカーから販売が予定されている液体ミルクについて、乳幼児のいる家庭からは安全性など正しい知識が得られるよう情報発信してほしい、災害時の備えとして行政に備蓄してほしいとの声もあるが、本市の備蓄品全般の状況と今後の取り組みを聞く。

答 本市ではさまざまな備蓄品を防災備蓄倉庫や拠点避難所に備蓄し、ホームページで紹介しているほか、各種出前講座などを通じて、幅広く情報提供を行っている。液体ミルクは、粉ミルクのようにお湯で溶かす必要がなく、災害時にも有用であると考えているが、消費期限や保存方法などの課題もあることから、今後、国や他都市の動向を注視しながら研究していきたい。(市長)

医療について

問 東京オリンピック・パラリンピックでは多くの外国人が日本を訪れることから、本市でも感染症対策が必要と考える。さまざまな感染症リスクをどう認識し、対策に取り組んでいくのか聞く。

答 海外から持ち込まれる感染症の発生が危惧されるため、国内外の感染症の発生動向を常に注視する必要があると認識しており、国の指示に基づいた感染症リスク評価を実施するとともに、医療機関等を対象とした研修会を開催し、情報を共有した。また、ワクチンで防げる病気については、市民への情報提供等により定期予防接種率の向上や任意予防接種の推奨に努めていきたい。(市長)

高齢者施策について

問 平成27年に策定された国の新オレンジプランの代表的な施策の一つに、認知症への理解を深めるための普及、啓発の促進として、認知症を正しく理解し、本人や家族を支える認知症サポーターの養成があるが、認知症サポーターの養成や活躍の促進など本市の取り組みについて聞く。

答 本市では、認知症サポーターの養成講座を開催し、年間約4,500人、これまでに延べ28,000人を超えるサポーターを養成し、さらにその中から地域活動におけるリーダーの役割を担うオレンジパートナーを養成し、認知症カフェの運営など、地域ぐるみで認知症の人と家族を支える体制づくりに努めている。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 新年度予算案について
- 2 消費税の引き上げについて
- 3 防災対策について
- 4 こども施策について
- 5 医療について
- 6 観光危機管理について
- 7 教育について
- 8 高齢者施策について
- 9 女性雇用と管理職登用について



金沢保守議員会
澤飯 英樹 議員 【代表質問】

幼児教育センターについて

問 幼児教育の推進体制の充実に向け、幼児教育センターを開設するとしているが、具体的にどのような業務を行うのか。

答 幼児教育・保育の独自性や先進性をさらに発展させるため、新年度に幼児教育センターの機能や体制、幼児教育に係る研修内容等の検討のほか、幼児教育と小学校をつなぐ金沢独自のカリキュラムの策定等を行うこととしており、現場はもとより東京大学や保育士等の養成校とも協働しながら、2020年度の開設を目指す。
(市長)

安全と安心について

問 ことしに入って全国で火災が頻発しており、秋田県と東京都では消防活動中の消防隊員が殉職している。災害現場における消防職員や消防団員の安全対策について聞く。

答 全消防職員や消防団員に対し、消防安全管理マニュアルの遵守を再徹底し、火災や大規模災害等の実災害を想定した訓練を繰り返し行い、指揮体制の強化と安全管理体制の確保に努めていく。
(消防局長)



実災害を想定した訓練を行う消防隊員

こども未来部の新設と組織の改編について

問 子ども施策を総合的に推進するため、福祉局内にこども未来部を新設するとのことであるが、こども未来部の新設と組織の改編によって、どのように子ども施策を充実させていくのか。

答 放課後児童クラブや子どもの貧困対策などに一元的に取り組む子育て支援課、幼児教育・保育の充実や無償化に的確に対応する保育幼稚園課、児童虐待防止対策を強化する子ども総合相談センターの3課体制とし、未来を担う子どもたちのため、さまざまな課題に対して丁寧かつ迅速に取り組み、総合的に子ども施策を推進していきたい。
(市長)

中京圏・関西圏へのアプローチについて

問 北陸新幹線開業以来、首都圏との時間的距離が短縮され予想以上に誘客が進んだ。2023年の北陸新幹線の敦賀開業や2025年の大阪万博、2027年のリニア中央新幹線の名古屋開業を見据えた中京圏・関西圏への戦略はどうか。

答 リニア中央新幹線名古屋開業や北陸新幹線の全線開通などにより、時間的距離がさらに短縮され、人の流れや地域経済に大きな変化をもたらすと想定されることから、新年度、有識者から成る会議を設置し、影響を調査するとともに、今後の施策の方向性を検討していく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 新年度予算編成と重点施策について
- 2 中京圏、関西圏へのアプローチについて
- 3 安全と安心について
- 4 家庭ごみの指定ごみ袋収集制度について



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員 【代表質問】

活気ある地域経済をつくり出すために

問 地域経済の落ち込みが続き、存続や継続が危機的な事態となっている。企業誘致に多くの税金が使われ、地場産業の支援が後回しとなっている今、必要なことは、地場産業振興策の強化である。具体的には、住宅リフォーム助成制度を実施し、本市中小企業への仕事出しを進めることを提案するが、いかがか。

答 住宅の耐震改修、高齢者や障害者の生活自立のためのバリアフリー改修など目的を持ったリフォーム等への助成制度を既に導入しているほか、新年度予算において、耐震改修に係る支援制度の拡充、住宅の取得やまちなかの空き家及びマンションの改修に対する助成制度を創設するなど充実に努めていることから、一般的なリフォームへの助成は考えていない。(市長)

教育環境の充実に向けて

問 教育環境の充実に向けて、旧校務士の定年退職による不補充の方針を中止し、少なくとも各学校に正規の職員を1人配置すべきである。また、教員の事務業務を担当するスクール・サポート・スタッフが全県で配置されるが、本市の配置について聞く。

答 校舎管理員は、他の技能労務職と同様、中期人事計画にて退職不補充を基本としており、この方針は変更しない。また、県のスクール・サポート・スタッフの増員に伴い、本市には今年度の2名から新年度は増員されると見込んでいる。(市長)

ことし10月からの消費税10%導入について、国に中止を求めることについて

問 消費税増税の根拠が総崩れとなり、景気が後退しており、もはや、消費税増税どころではない。消費税10%増税を中止するよう国へ求めるべきと考えているが、いかがか。

答 消費税の引き上げは、国家財政の再建や少子高齢社会への対応を進めていくために、ある程度避けられないことだと思っている。(市長)

子育て支援の強化に向けて

問 子どもの貧困をなくし、子育て支援の強化に向けて実施すべきものとして、子ども医療費助成を18歳まで拡充するとともに、自己負担を無料とすることを提案するが、いかがか。



答 新年度から、現物給付の対象に接骨院等を追加することとしているが、現時点で年齢の拡大は考えていない。また、安定した制度運営と適正な受診のため、一定の自己負担は必要と考えているし、県の制度に基づいていることから、市独自の無料化は現在のところ考えていない。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 辺野古新基地建設反対が7割を超えた沖縄県民投票と沖縄弁護士会からの要請について
- 2 ことし10月からの消費税10%導入について、国に中止を求めるとともに、本市の対応について
- 3 新年度予算について、暮らし、地域経済への支援を最優先する市政に転換することを提案する
- 4 本市庁舎管理規則と言論の自由、政治活動の自由を保障することについて



自由民主党金沢市議員会
松村 理治 議員

中央卸売市場の再整備について

問 中央卸売市場の老朽化が進み、再整備が必要であることから、昨年設置された卸売市場の今後のあり方検討会において議論を重ね、中央卸売市場、公設花き地方卸売市場ともに引き続き市が開設者となり公設を維持するとともに、公設花き地方卸売市場を中央卸売市場に編入し、一体運営する方針が示された。この公設維持の決定について、市長はどのような思いを持っているのか。

答 特に地方の卸売市場に求められることは、安全・安心はもとより生鮮食料品の安定供給であり、そのためにも卸売市場の公共的使命はきわめて大きく、本市が誇る豊かな食文化をしっかりと支えていくためにも公設を維持していくことが必要だと考えている。 (市長)

本市における救急体制について

問 昨年中に救急車の出動要請が集中し、一時的に救急車が不足するような事態はどのくらいあり、その時にはどのように対応したのか。

答 昨年1月、2月の大雪時に53件発生した。救急車が不足することが予測される場合、3台ある予備救急車を活用し、緊急に非番職員を招集して救急隊を編成することとしており、昨年の大雪時においても同様に対応したところである。 (消防局長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢市中央卸売市場の再整備について
- 2 金沢歌劇座の建てかえについて
- 3 本市における救急体制について
- 4 平成を振り返って



みらい金沢
麦田 徹 議員

奇跡のような出土品について

問 千田北遺跡で出土した木製の「笠塔婆^{かきとうぼ}」はこれまで絵巻物でしか確認できなかった遺物であり、金箔が付着しているものは国内初めてとなるなど、奇跡のような史料だとされている。この貴重な遺物を地域の子もたちにも発掘現場近くで見てもらいたいが、展示施設の整備について聞く。

答 地元での新たな施設整備は難しいが、地域の人や子どもたちに関心を持ってもらうことは大切だと考えており、公民館行事などのさまざまな地域行事にあわせた見学会や説明会の開催について地元と協議したい。 (市長)

働き方改革について

問 働き方改革は官民両方からの取り組みになることから、長期的に検証や改善を継続しながら実現を目指してほしいが、働き方改革を広く浸透させていくためにも、市内企業の取り組み状況などをどのように把握、分析していくのか。

答 金沢イクボス企業同盟と連携し、市内企業の働き方改革の取り組み状況について定期的なアンケート調査を実施して把握、分析するとともに、企業団体や労働団体等との連絡会議を開催し、現状や課題を把握することで、働き方改革推進に向けての施策の充実を図っていく。 (市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 奇跡のような出土品について
- 2 公共交通について
- 3 働き方改革について
- 4 金沢市都市計画マスタープラン改定について
- 5 観光客の声から



公明党金沢市議員会
源野 和清 議員

保育施策について

問 本市における今後の人口動態と保育エリア別に見る課題について聞く。

答 近年の入所利用申し込みの状況から駅西・臨海地区や西部地区における保育の確保は急務であり、現在策定中の次期子ども・子育て支援事業計画において適切な教育・保育の必要量の見込みを算定し、これに基づく確保策を講じていきたい。
(福祉局長)

公共文化施設の多言語化による発信について

問 外国人向けに歴史、伝統、文化を伝えるには、単なる翻訳ではなく、その背景や文化の違いを踏まえて伝えることが重要と考えるが、公共文化施設における多言語化への対応状況にあわせ、ICTを活用した欧州等への戦略的情報発信について聞く。

答 文化施設における外国語のリーフレットは英語、中国語、韓国語版の整備をほぼ完了し、イタリア語などのヨーロッパの言語の制作を進めている。また、金沢湯涌夢二館では、ヘブライ語のリーフレットの作成により、杉原千畝ルートを訪れる外国人の誘客に取り組んでいる。今後、ウェブサイトの多言語化の推進とAR技術を活用した外国人にも理解しやすいアプリの導入を通じ、一層魅力的な情報を効果的に発信できるように取り組んでいく。
(市長)



外国語版リーフレット

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 地域経済の活性化について
- 2 文化施策の発信について
- 3 まちづくりと人口動態における施策について



自由民主党金沢市議員会
喜多 浩一 議員

AI時代における労働環境について

問 AIやRPA*などの導入により、雇用が失われるのではないかと報道をよく目にする。だからといって雇用の全体そのものが減るとは限らない。単純作業がAIに取ってかわられる反面、労働人口の激減を考えれば、むしろ人でないとできない仕事は増加していく可能性が考えられるが、こうしたAI時代の労働環境について、市長はどう考えているか。

*RPA…Robotics Process Automationの頭文字
(ロボティック プロセス オートメーション)

答 AI等が得意とするデータ処理などの作業の省力化や効率化が、人手不足の緩和につながるるとともに、多様な人材の柔軟な働き方、ワーク・ライフ・バランスの推進などの職場環境の向上に寄与すると考えている。
(市長)

価値創造拠点の整備について

問 金沢でしか生み出せない文化的価値を付加したサービスや製品、知的財産などを創出する価値創造拠点の整備に当たり、旧野町小学校の校舎を使用することとなった理由を聞く。

答 公共交通の利便性、一定規模の駐車スペースが確保できること、求められる機能等から算出した施設規模や既に耐震基準を満たしていること、早期に改修や活用ができる建物であることから旧野町小学校を選定した。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 旧野町小学校校舎を活用した価値創造拠点の整備について
- 2 小中学校における総合的な学習時間について
- 3 AIやRPAなどの先端技術の活用と金沢市ICT活用推進計画について
- 4 公共施設におけるLED照明の導入について



日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員

家庭ごみ有料化について

問 燃えるごみと埋め立てごみだけがごみの全量ではなく、金沢市が計画上減らすとしているごみの中には、資源ごみもある。家庭ごみ有料化開始から1年たって、資源ごみと事業系ごみの状況はどうか。

答 資源搬入ステーションでの平成30年2月から平成31年1月までの1年間の資源回収量は、速報値で前年同期比、容器包装プラスチックが79.2%増、ペットボトルが42.1%増、新聞紙等の古紙が66.6%増、ダンボールが90.2%増となっている。また、同1年間の事業系ごみ排出量は、速報値で前年同期比、燃やすごみが1.1%減、埋め立てごみが0.8%増となっている。(環境局長)

学童保育について

問 学童保育は市へ申請する保育所と違い各クラブに直接申し込むため、待機児童数は正確ではなく、実際はもっと多いはずである。新年度予算では、学童保育3カ所の増設が予定されているが、まだまだ不足する状況ではないか。市長の待機児童に対する認識を聞く。

答 地域によっては入所できない児童がいることは承知している。今年度、保護者を対象とした児童クラブ利用の意向調査を行ったところであり、新年度策定する次期子ども・子育て支援事業において今後の利用人数の見込みを算定し、地域の運営主体となる地区社会福祉協議会や社会福祉法人の協力を得ながら、受け入れ定員の拡充とともに努めていく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 宿泊税について
- 2 家庭ごみ有料化について
- 3 学童保育について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員

金沢百万石まつりの百万石行列について

問 昨年の石川県立音楽堂でのカウントダウンライブにおいてX-JAPANのToshlさんが、金沢百万石まつりに利家公役として参加したいと公言したと聞いたので、声をかけてはどうか。また、金沢市立工業高校で学んだ飯田景応氏が作曲し、第1回百万石行列で歌われた百万石ぶしをToshlさんに歌ってもらってはどうか。

答 Toshlさんが金沢百万石まつりに関心を持ってもらうのは大変嬉しいが、利家公役は百万石まつり実行委員会において、複数の候補者から選んでいることから、百万石ぶしの件とあわせて実行委員会に伝えたい。(市長)

児童相談所について

問 中核市を中心に、国を挙げて児童相談所を拡充しようとする中、先進市である本市に対して視察や問い合わせがふえると予想される。開設時と比べて児童虐待に関する相談件数が3倍にふえている中、1人増でさまざまな相談に対応できるのか。

答 児童虐待防止法等の改正や児童相談所強化プランの進捗と国の動向を注視するとともに、本市としても児童相談所の機能強化に意を用いながら、引き続き、子どもの安全を最優先とした対応に努めていく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 地球温暖化対策費の公共施設等LED照明導入調査費について
- 2 市営緑住宅の外壁の色について
- 3 金沢百万石まつりの百万石行列について
- 4 児童相談所について
- 5 ごみ袋有料化施策について
- 6 大徳地区の第3小学校について



自由民主党金沢市議員会
中川 俊一 議員

子どもの貧困対策について

問 新年度に子どもソーシャルワーカーの養成、配置や子ども学習総合支援事業が盛り込まれている。これらは、貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境を整備し、教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進する上で重要な施策であるが、どのように取り組むのか。

答 新設するこども未来部の子育て支援課に子どもソーシャルワーカーを配置し、こども総合相談センターを含む部内の体制を整え、困難を抱えている子どもを早期に発見し、必要な支援につなげていくほか、これまでの学習支援事業を各家庭に学生ボランティアが出向く派遣型と松ヶ枝福祉館で実施する拠点型に再編する。
(市長)

地域との連携について

問 家庭や地域における教育力の向上や地域と学校が連携、協働しながら地域ぐるみで子どもを育み、地域社会の活性化を図ることを目的に、金沢市総合教育会議において、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりについて協議してから2年経ったが、どのような成果があり、今後どのようにしていくのか。

答 総合教育会議の意見を踏まえ、地域学校協働活動の普及に努めた結果、新年度は、平成30年度の31校区からさらに拡大する見通しである。引き続き、子どもたちが健やかに成長するための環境づくりに努める。
(教育長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 活力あるまちづくりについて
- 2 スポーツ文化の推進について
- 3 未来を育む人づくりについて
- 4 安全・安心な暮らしづくりについて



自由民主党金沢市議員会
野本 正人 議員

本市の新しい交通システムについて

問 今年度は、検討委員会からの提言に示された導入空間の確保などの諸課題の解決に向け、導入機種の選定に必要なさまざまな検討調査が進められてきたとのことだが、その中で、都心軸や周辺道路にどのような影響があるのかを調査した交通影響調査の結果を聞く。

答 新しい交通システムの専用空間を都心軸に確保した場合に、都心軸から周辺への迂回交通は発生するが、まちなかの自動車交通を4%削減できれば現状と同程度になると見込まれたことから、公共交通の利用促進やパーク・アンド・ライドの普及拡大を着実に進める。
(市長)

金沢ホテル戦争について

問 ホテル戦争ともいうべきホテルの開業ラッシュにより、本市のまちづくりについて、さまざまな負の側面が危惧される。市長は、ホテルの乱立がもたらす本市への負の影響を、どのように認識し、新年度で具体的にどのような手立てを講じていくのか。

答 地域社会の一員として、金沢のまちに愛着をもち、協力してほしいことから、新たにホテルを開業した事業者に集まってもらい意見交換を行い、私自身が金沢のまちづくりを説明し、金沢のまちを深く理解してもらおう機会を設けることで、お互いの顔が見える関係を築いていきたい。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 平成の終わりと新時代の到来に向けて
- 2 本市の新しい交通システムについて
- 3 家庭ごみ有料化1年を経て
- 4 金沢ホテル戦争について
- 5 スポーツ文化の振興について



みらい金沢
森 一敏 議員

宿泊税の施行に関して

問 4割の事業者が宿泊税を自己負担しているとの京都の簡易宿所連盟の調査報告は、宿泊事業者に与える影響に警鐘を鳴らしている。金沢でも客室稼働率は低下していると聞いており、宿泊税の導入は、消費税引き上げと客離れによる値引き競争から宿泊事業者に深刻なダメージを与えるとの見方が広がっている。導入時期の慎重な再検討と早期の見直しを求めるが、どうか。

答 先行自治体では宿泊税の導入による宿泊客の減少はなかったと思っており、税を有効に活用し、金沢の魅力にさらに磨きをかけることで理解を得ていきたい。宿泊税の見直しについては、条例の施行状況などを見きわめるため、一定の期間経過が必要であり、条例の附則において5年ごとに検討を加え、所要の措置を講じることとしている。なお、検討の際には適切な体制を構築していく。(市長)

第2次金沢交通戦略の進捗について

問 全市域における市民の移動権を保障し、まちの活性化と福祉の増進を支える都市の装置としての体系的な交通まちづくりは、時代の要請と考えるが、交通事業者との意思疎通は現段階でどの程度図られ、何が課題となっているのか。また、今後の取り組みへの市長の決意を聞く。

答 交通事業者と定期的に協議の場を設け、二次交通の充実などの意見をもらっている。交通システムを変えていくことは、バス路線網の再編となり、新年度、交通事業者と協議し、連携、協力体制を強化しながら、郊外のバス利用の促進に取り組み、交通ネットワークの充実を図っていく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 宿泊税の施行に関して
- 2 第2次金沢交通戦略の進捗について
- 3 学校の長時間労働と人手不足の解消について
- 4 市民のつぶやきから「フェアトレードタウン」のすすめ



創生かなざわ
玉野 道 議員

歴史的な木造建築が残り景観的にも大切な尾張町一帯におけるまちなみの保全と継承について

問 金沢創造都市会議で議論のあった建物の博物館とも称される尾張町一帯の木造建築に着目した取り組みに関し、建築基準法や防火区域のあり方を含め、どのような取り組みが必要だと考えているのか。

答 金澤町家再生活活用事業などの助成制度の利用を促し、尾張町一帯の木造建築の保全、活用に努めていくほか、歴史的建築物の法的制限を一部緩和する条例の可決により、木造建築の価値を維持したままの活用の可能性が広がると考えている。(市長)

灯籠流しや友禅流しなど、河川に見る歴史や文化の伝承について

問 河川に見る歴史的風致としての灯籠流しや友禅流しなどの歴史や文化の伝承の取り組みと、本市の象徴とも言われるこれら伝統行事がなくなりかねない現状に対する市としての考えを聞く。

答 金沢市歴史的風致維持向上計画に基づき、各種事業を着実に実行していくことで、歴史や文化の伝承が図られると考える。灯籠流しは、観光素材としての視点から考えていきたいし、友禅流しは、金沢の文化のひとつであることから、市として関係者にも意見を聞いていきたい。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 改訂「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関して
- 2 「広域連携とまちづくり」に関して



自由民主党金沢市議員会
高 誠 議員

通学路環境について

問 平成 30 年の金沢市内の交通事故発生件数及び負傷者数は昭和 46 年以降最少だったが、子どもたちの通学路における安全確保のための対策をどのようにしているのか。

答 例年、学校、道路管理者、警察、保護者等と連携の上、通学路合同点検を実施し、改善策を講じるなど、登下校時の子どもたちの安全確保を図り、事故の未然防止に努めている。(教育長)

地名発祥夕日寺 1300 年について

問 地名発祥夕日寺 1300 年についての取り組みと夕日寺校下に対する市長の思いを聞く。

答 夕日寺校下では、協働のまちづくりチャレンジ事業において、地域住民、子ども、学校の先生、保護者や金沢星稜大学の学生などが集まって、さまざまな取り組みを行っており、地域コミュニティのモデルともなり得る校下だと思っている。今後の取り組みにも期待している。(市長)



【質問事項】(一括質問方式)

- 1 教育環境について
 - ・プログラミング教育について
 - ・通学路環境について
 - ・教育長任期7年を振り返り
 - ・教育長のリーダーシップについて
- 2 観光政策について
 - ・宿泊税について
 - ・「障がい者」施策について
 - ・観光案内・観光スポットの発信について
 - ・10連休時の体制について
- 3 今後のガス事業・発電事業について
 - ・ガス事業の経営状況について
 - ・今後のガス事業・発電事業について
- 4 地名発祥夕日寺 1300 年について



会派みやび
宮崎 雅人 議員

金沢職人大学校における取り組みについて

問 20 周年を機に取りまとめた金沢職人大学校活性化プランには、四本の柱の一つとして技術を磨く環境づくりを図るための仕事創出を挙げている。建築業界からは、学んだ技術を生かす仕事が少ないとの声を聞いているが、伝統的な技術を活用できる仕事の創出について、どのように考えているのか。

答 重要伝統的建造物群保存地区の制度が住民に浸透しており、今後も建物の修理等が継続的に実施される見込みであるほか、金澤町家の改修等に伴う事前届出制度の運用により、金澤町家が解体から保全活用に転換されることが期待されることから、修了生が携わる仕事もより一層、創出されると期待している。(市長)

金石・大野地区について

問 ここ数年、クルーズ船の寄港数が大幅に増加しており、新年度は 50 本を超える見通しで、ますます期待が高まるが、クルーズ船で金沢に来る人の中には、船にとどまる人が多い。そうした人に固有の歴史がある金石・大野地区に足を運んでもらうための回遊性の向上と今後の取り組みについて聞く。

答 新年度は、クルーズ船寄港時に、乗客を金石・大野地区へ誘導する実証実験を実施していく。また、レンタサイクルを活用した取り組みのほか、金沢文化スポーツコミッションと連携し、スポーツや文化イベント参加者の周遊を促すなど、両地区への誘客も推進していく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 平成 31 年度当初予算について
- 2 土砂災害について
- 3 金沢職人大学校における取り組みについて
- 4 金石・大野地区について



自由民主党金沢市議員会
田中 展郎 議員

幼児教育・保育の推進について

問 近年、保育現場の人手不足が深刻な問題となっていることから、保育士等の働きやすい環境を整えることが急務である。新年度における保育士等の人材確保や処遇改善に対する施策を聞く。

答 保育士等の負担軽減を図るため、清掃や給食の配膳などの保育の周辺業務に当たる保育支援者の配置を支援するとともに、さらなる処遇改善に取り組むため、国の公定価格に合わせて、1%の賃金上げを当初予算に盛り込んだ。(市長)

ばい捨て等防止条例について

問 郊外におけるポイ捨て等防止策のために、マナーをよくするかなざわ市民会議の活動として、今まで以上に広報活動や啓発活動を積極的に行う必要があると思うが、どうか。

答 小中学校を対象としたグッドマナー実践モデル校を順次指定するとともに、町会や事業者等によるグッドマナー宣言のほか、新たに子どもや大人がマナーについて考える会議を開催するなど、引き続き、市民総ぐるみによる取り組みを進めていく。(市長)



ばい捨て等防止周知キャンペーンの様子

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 都市計画マスタープランの改定について
- 2 幼児教育・保育の推進について
- 3 ばい捨て等防止条例について
- 4 新年度における大型プロジェクトについて

特別委員会の報告・提言(要旨)

防災・安全対策及び雪害対策に関する調査を行ってきた防災・安全対策特別委員会は、執行部からの説明や参考人からの意見聴取、他都市への視察等を行ってきたことを踏まえ、昨年9月及び12月に山野市長へ提言書を提出しました。また、3月22日の本会議において委員長報告を行い、これをもって、特別委員会の活動は終了しました。報告・提言の要旨は以下のとおりです。



防災・安全対策 特別委員会

小林 誠委員長

雪害対策に関する提言・報告

①除雪に関する基本的な計画を新たに策定し、除雪体制の抜本的な見直しを必要な除雪予算を確保した上で行うこと、②常時開放された小規模な排雪場の拡大、増設に努めること、③学校・病院等の公共的施設周辺における安全で快適な歩行者空間の確保に努めること、④除雪情報のオープンデータ化やSNSを活用した幅広い世代に向けた重層的な情報の発信に努めることを求め、行政、事業者、市民がそれぞれの役割を認識して、雪害対策に当たることにより、本市がより雪に強いまちになることを期待する。

防災・安全対策に関する提言・報告

①大規模イベント時における適時適切な防犯対策を講じるとともに、その必要性を市民に認識してもらうよう注力すること、②不特定多数の市民が出入りする公共施設における市民の立場に立った防犯対策の強化を講じること、③費用対効果を見きわめつつも、新たな手法の導入を積極的に検討し、技術の進展に応じた防犯対策の見直しを行うことを求め、さまざまな場面における防災・防犯対策の計画立案や遂行に当たっては、必要性を市民に周知し、理解を得ながら進めていく必要がある、今後さらなる安全・安心な市民生活の確保に資することを期待する。

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けています。定例月議会中には提出された議案の審査を行うほか、定例月議会が開かれていないときも、市政についての課題や市の計画、事業内容を調査しています。

| 委員会名 | 開催日 | 主な報告事項 |
|-----------|-------|---|
| 総務常任委員会 | 1月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・石川中央都市圏首長会議等の開催について ・公共レンタサイクルまちのりのあり方検討委員会の検討結果について |
| | 2月13日 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢の子育て・教育を考える懇話会について ・「KANAZAWA Civic Tech Contest 2018」の開催について |
| | 3月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい金沢版ふるさと納税の謝礼品等について ・金沢市ICT活用推進計画の概要について |
| 経済環境常任委員会 | 1月31日 | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな工業用地の整備に関する答申について ・生ごみ減量化の取り組みについて |
| | 2月27日 | <ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ金沢モデルについて ・「農地バンク」の開設について |
| | 3月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢林業大学校研修生の修了及び入校について ・東西環境エネルギーセンターの売電について |
| 市民福祉常任委員会 | 1月25日 | <ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療等に関する普及啓発動画の作成について ・町会区域等の情報のインターネット公開について |
| | 2月25日 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市と石川県警察との児童虐待の情報共有等に関する協定の締結について ・金沢市子どもの貧困対策基本計画の策定について |
| | 3月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育施設の開設について ・がん検診の受診状況について |
| 建設企業常任委員会 | 1月16日 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市都市計画マスタープラン改定骨子（案）にかかる意見募集（パブリックコメント）について ・今冬の除雪状況について |
| | 2月15日 | <ul style="list-style-type: none"> ・融雪期における土砂災害警戒パトロールの実施について ・卯辰山公園「眺望の丘」の完成について |
| | 3月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市水害ハザードマップの作成について ・片町四番組海側地区の状況について |
| 文教消防常任委員会 | 1月21日 | <ul style="list-style-type: none"> ・金沢子ども読書推進プラン2019（仮称）案について【中間報告】 ・消防活動用無人航空機（ドローン）の概要について |
| | 2月1日 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落」の追加認定申請について ・特別支援教育サポートセンター（仮称）整備基本計画について |
| | 3月14日 | <ul style="list-style-type: none"> ・千田北遺跡で発掘された金箔を用いた木製笠塔婆について ・避難所運営マニュアルの改定について |

常任委員会連合審査会

自由民主党金沢市議会



福田 太郎 委員

問 中小零細企業で働き方改革が進むようにするため、本市としてどのような支援を行うのか。

答 企業の人材確保を支援するとともに、働きやすい職場環境づくりアドバイザーの利用を促すほか、関係機関等と連携し、働き方改革に向けた取り組みを後押ししたい。
(労働政策課長)

問 金沢版働き方改革推進プランの基本理念に掲げた「生涯にわたり働きやすいまち金沢」を実現するために、どのような体制で推進していくのか。

答 庁内の推進本部においてプランの進捗管理を行うとともに、有識者や労働団体など関係機関で構成する連絡会議を開催し、相互連携を図りながら、施策のさらなる充実に努める。
(市長)

【質問事項】

働き方改革について



久保 洋子 委員

問 新年度におけるかなざわ起業女子きらめきプロジェクトの方針を聞く。

答 金沢女性起業塾の人脈やノウハウを活用して、女性起業家みずからが知見を深め、地に足がついた活動ができるよう、より実践的な経営者養成プログラムを実施する。
(経済局長)

問 看護学生の応急救護活動について看護学校の理解と救護活動の内容を聞く。

答 事業の趣旨を説明した市内5校全ての看護学校から理解を得た。学生を50名ほど募集し、大規模災害時の医療救護所で医師や看護師の指示のもと、傷病者の手当てや症状の聞き取りなどのボランティア活動を行う。
(消防局長)

【質問事項】

- ①女性の起業支援について
- ②看護学生応急救護活動について



小阪 栄進 委員

問 小中学校全ての学年において35人学級を実現することが、子どもの学力向上やいじめ、不登校対策に最も効果的と考えるが、いかがか。

答 35人学級は教員が一人一人の子どもと向き合う時間を確保するために有効な手段であり、働き方改革にもつながると考えている。今後、国に対して粘り強く定数改善を働きかけていく。
(教育長)

問 本市のまちなかには連続したアーケードやひさしが整備されていない。片町きららから香林坊交差点間の再開発は雨や雪がかからない歩行環境をつくる絶好の機会ではないか。

答 新年度における基本計画の策定作業の中で、アーケードの整備など、快適な歩行空間となるよう準備組合と調整していく。
(市街地再生課長)

【質問事項】

- ①学校教育について
- ②学校給食について
- ③スポーツ文化の推進について
- ④まちなかの歩行環境の整備について



坂本 泰広 委員

問 市役所庁舎内における政党機関紙の勧誘に対する調査結果を発表したが、この結果を受けて、市として新年度以降、職員の勤務環境に係る対応をどのように行っていくのか。

答 調査を行うと意思表示をしたこと、調査を実施したこと、調査の結果を報告したことは全て、職員を守りたいとの一点からであることを理解してほしい。新年度以降はぜひ、この思いを酌み取って、議員各位にも理解してもらいたい。
(市長)

【質問事項】

政党機関紙に関するアンケートについて

平成31年度金沢市当初予算及びこれに関する議案の審査を行うため、総務、経済環境、市民福祉、建設企業、文教消防の各常任委員会による連合審査会が3月19日（火）に行われました。

自由民主党金沢市議員会（つづき）



小間井 大祐 委員

問 本市でも骨髄移植を必要とする患者の命を一人でも多く救うため、ドナーに対する経済的支援制度の導入や、働き方改革の一つとして事業所への啓発と助成事業を考えるべきではないか。

答 ドナーが骨髄を提供しやすい環境づくりに向けて、助成制度の創設や事業所への啓発活動など、どのような取り組みができるか検討する。（市長）

問 持続可能な開発目標（SDGs）の推進において、新年度はどのような庁内体制で取り組んでいくのか。また、市民をどう巻き込んでいくのか。

答 地域全体で取り組むべき行動計画を策定するとともに、高校生向けSDGs教育プログラムの実施や多様な主体と連携したイベントの開催を通して、市民への普及啓発を図っていきたい。（市長）

【質問事項】

- ①骨髄ドナー助成について
- ②SDGsの取り組みについて

みらい金沢



山本 由起子 委員

問 児童相談所の児童福祉司には高度な専門性と経験が求められるが、人事や人材育成の点でどのように考えているのか。

答 児童相談所における児童福祉司の業務は育児相談から虐待対応まで幅広く、専門的視点が不可欠であるため、国や県が実施する専門研修に職員が毎年参加し、知識や技能の習得を図るなど、職員の専門性の向上に努めている。また、困難な事例に対してはチームとして対応するほか、複雑化している相談内容に迅速かつ丁寧に対応するため、生活保護や母子父子福祉などさまざまな経験を有する職員を配置している。（福祉局長）

問 本市の教育支援委員会では、発達障害児などの就学相談において、本人や保護者の意向が尊重されずに、特別支援学級を強く勧められるケースがあると聞いているが、この状況を教育長はどのように考えているのか。

答 教育支援委員会の就学相談では、インクルーシブ教育に基づいて、通常学級や特別支援学級で受けられる支援について詳しく伝えた上で、保護者とともに児童・生徒にとってよりよい就学先を決定することに努めている。これからも本人や保

護者のニーズに沿って合意形成が図られるように努めていく。（教育長）

【質問事項】

- ①子ども施策について
- ②教育について



松井 隆 委員

問 1年前の本庁舎内での傷害事件を受け、市は本庁舎と出先機関17施設で早急に安全管理強化対策を実施したが、その状況を聞く。また、保育所や小学校などの出先機関へも早い対応を願うが、どうか。

答 17施設に対しては、安全管理体制の強化策として定めた本庁舎における民間警備員の増員、防犯カメラ、110番通報装置の増設などの対策や、市民センター及び福祉健康センターにおける110番通報装置については、昨年末までに完了し、運用している。また、新年度早々に、昨年度実施した庁舎の安全強化策の効果を有識者から成る検討委員会において検証する。その上で、保育所や学校など、他の公共施設における具体的な安全対策を速やかに策定し、実施に移していく。（市長）

【質問事項】

- ①本市における安全管理強化策について
- ②金沢版働き方改革について
- ③総合行政対策費について

金沢保守議員会



安達 前 委員

問 台湾とは国交がないものの、石川県の外国人観光客で一番多いのは台湾である。金沢市は地方都市だから、台湾との交流はもっと芯のある相互交流をすべきであり、そういう意味では台湾に友好都市をつくってほしいが、いかがか。

答 民間で協定を結んでいるところもあるが、友好都市となるには課題が多いと思っている。民間交流が活発になるよう、引き続きさまざまな形でバックアップしたい。(市長)

【質問事項】

- ①国際交流について
- ②人材育成について



小林 誠 委員

問 保育施設でのフッ化物洗口が始まったが、小学校においても実施すべきではないか。

答 モデル校を選定して実施する。(教育長)

問 体調不良児保育を拡大すべきではないか。

答 効果を含めて研究していく。(市長)

【質問事項】

- ①歯と口の健康づくりについて
- ②病児保育について
- ③教育施設について



前 誠一 委員

問 大阪北部地震で起きたブロック塀倒壊事故を受け、森本地区でブロック塀をフェンスに取りかえたところがあるが、通学路沿いのブロック塀除却補助制度の概要と利用実績を聞く。

答 通学路に係る危険ブロック塀除去の補助単価を3,500円から7,000円に、限度額を10万円から20万円に引き上げており、ことし2月末までに48件利用されている。(建築指導課長)

【質問事項】

- ①中山間地域について
- ②金沢市都市計画マスタープラン改定について
- ③通学路のブロック塀の改修状況について



澤飯 英樹 委員

問 地域の消防分団は、訓練場所の確保に大変苦労している。公共施設の駐車場や公園等を訓練場所に使用できないか。

答 大規模な駐車場がある公共施設において、市民の利用に影響がない範囲で、訓練場所として使用できるよう調整に努める。(消防局長)

【質問事項】

- 消防団の訓練場所について

日本共産党金沢市議員団



大桑 初枝 委員

問 地域運営交通の導入には町会などが運営主体になることが求められるが、運行計画の策定や課題の解決、地域内の調整などに多大な労力を要することから、高齢化などの理由でなかなか対応できない町会もあるので、市が導入に向けたイニシアチブを取るべきではないか。

答 市職員が直接地域へ出向いて説明しているほか、計画を策定するためのアドバイザーの派遣や、運行実験の費用に対する支援を行っている。今回の制度の充実を機に活用地区の拡大を図っていく

たい。(交通政策課長)

問 地域運営交通の支援制度の拡充を図るために補助率のかさ上げを行っているが、地元負担をなくして本市が財政負担をしなければ、地域運営交通は広まらないのではないか。

答 全ての地域で行政が移手段を確保することは財政的にも困難であると思っている。地域住民が主体で運営するバス等の運営を支援する制度を設け、地域みずからルートや運行本数を設定することで、乗って支えるという意識づけがなされ、持続的な運営につながると考えている。(市長)

【質問事項】

- ①金沢市の観光政策について
- ②金沢市の交通ネットワークの充実について

公明党金沢市議員会



角野 恵美子 委員

問 第32回奥の細道サミット in 金沢では、企画展や講演会、交流イベントをどのように開催するのか。

答 7月13日、14日に金沢市文化ホールを主会場として開催する講演会やシンポジウムのほか、自治体関係者を対象としたエクスカージョンを行う。講演会やシンポジウムでは、北海道大学の川村教授と公立ほこだて未来大学の松原教授が共同で開発を進め、松尾芭蕉の俳句を学習した人工知能(AI)を活用していきたい。また、サミットにあわせ、市民とめぐるまち歩きツアーの企画や、泉野図書館を活用した関連イベントを開催する。(市長)

問 サミットの開催当日には、芭蕉の俳句を学習したAIが詠んだ俳句が披露される見通しと地元紙で紹介されていたが、例えば、AI対小中学生や一般の方が横綱を目指す俳句相撲を企画してはどうか。

答 昨年、北海道大学の川村教授らが手がけた、人間とAIとの俳句制作対決のイベントが開催されたと聞いており、今後、地元関係者を交え、どのようなことができるか、シンポジウムにおける企画を検討する。(市長)

問 子ども宅食とは、2017年度に東京都文京区で始まったプロジェクトで、企業などから提供を受けた食品を、子どもがいる生活困窮世帯に定期的に宅配する官民連携事業だが、子どもの貧困対策だけでなく、宅配時に児童虐待や家庭不和などの早期発見にもつながることから、本市でも子育て施策として実施してはどうか。

答 文京区長と意見交換したことがあり、私も早い段階から関心があった。この事業を実施するには、持続的に安定して食品を提供してもらえらる企業や配送事業者の確保など、しっかりとした体制づくりが必要であり、文京区の事例を研究しながら学んでいきたい。(市長)

問 新年度の取り組みの中で、若年性認知症支援費として、集いの場となるカフェの開設や、個々のニーズに応じた支援を実施することとしているが、その狙いを聞く。

答 認知症カフェのほか、新たにホームページを開設して当事者や支援者の思いを発信できる環境をつくるほか、金沢21世紀美術館で開催されているワークショップやスポーツイベントなどへの参加を支援し、認知症の方の暮らしや社会参加を支える取り組みを推進していく。(市長)

【質問事項】

- ①第32回奥の細道サミット in 金沢について
- ②未来を担う子ども施策の充実について
- ③当事者に寄り添った認知症施策について
- ④現夕日寺公民館と旧校庭の一体化利用について

日本共産党金沢市議員団 (つづき)



森尾 嘉昭 委員

問 本市の職員に対する政党機関紙の購読勧誘にかかわるアンケート調査は、職員の内心の自由に踏み込み、思想信条の自由を侵害するおそれがある。議員が職員に対し電話調査を行い、市長がアンケート調査を実施した全国まれに見る二度にわたる調査は、問題ある対応だと考えるが、市長の見解を聞く。

答 先行自治体の事例や判例をもとに、弁護士にも相談し、適切な判断で適切な対応をしたと思っ

ている。(市長)

問 市長は本会議の答弁の中で、言論、集会、政治活動の自由は憲法で保障されていると答えているが、なぜ憲法にこのような明文化がされていると考えているのか。

答 憲法にとって自由は最も大切だという思いの中で明記されたものと理解しているが、その自由は、他人の自由を侵してはならないという趣旨も憲法に明記されていると考えている。(市長)

【質問事項】

本市庁舎等管理規則にかかわる新年度予算と運用について

このほか、創生かなざわの玉野道委員が「公共施設等総合管理計画と策定指針並びに改定に関して」の質疑を行いました。

平成30年度 3月定例月議会 審議結果

■全会一致の議案 ※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

| 議案番号 | 件名 | 本会議の結果 |
|------------------|--|--------|
| ◇市長提出（議案73件中47件） | | |
| 議案第58号 | 平成31年度金沢市営地方競馬事業費特別会計予算 | 可決 |
| 議案第60号 | 平成31年度金沢市公共用地先行取得事業費特別会計予算 | 可決 |
| 議案第61号 | 平成31年度金沢市工業団地造成事業費特別会計予算 | 可決 |
| 議案第62号 | 平成31年度金沢市住宅団地建設事業費特別会計予算 | 可決 |
| 議案第63号 | 平成31年度金沢市駐車場事業費特別会計予算 | 可決 |
| 議案第66号 | 平成31年度金沢市母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計予算 | 可決 |
| 議案第70号 | 平成31年度金沢市発電事業特別会計予算 | 可決 |
| 議案第73号 | 平成31年度金沢市中央卸売市場事業特別会計予算 | 可決 |
| 議案第75号 | 平成31年度金沢市公設花き地方卸売市場事業特別会計予算 | 可決 |
| 議案第76号 | 金沢市歴史的建築物の現状変更の規制及び保存のための措置に関する条例制定について | 可決 |
| 議案第77号 | 金沢市避難行動要支援者名簿に関する条例制定について | 可決 |
| 議案第78号 | 金沢市就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づく幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例制定について | 可決 |
| 議案第79号 | 金沢市における美しい眺望景観の形成に関する条例制定について | 可決 |
| 議案第80号 | 金沢市長土堀青少年交流センター条例制定について | 可決 |
| 議案第81号 | 金沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第84号 | 金沢市手数料条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第85号 | 金沢市公民館設置条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第87号 | 金沢卯辰山工芸工房条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第92号 | 金沢市土地改良事業分担金等賦課徴収条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第93号 | 金沢市におけるぽい捨て等のない快適で美しいまちづくりの推進に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第94号 | 金沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第95号 | 金沢市児童福祉法に基づく児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第96号 | 高齢者等の医療費の助成に関する条例及び子育て支援医療費助成に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第99号 | 金沢市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例等の一部改正について | 可決 |
| 議案第100号 | 金澤町家の保全及び活用の推進に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第102号 | 金沢市定住の促進に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第103号 | 建築物の駐車施設に関する条例の一部改正について | 可決 |

| 議案番号 | 件名 | 本会議の結果 |
|---------|--|--------|
| 議案第104号 | 金沢市建設発生土処理施設の管理に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議案第107号 | 金沢21世紀美術館及び金沢能楽美術館の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第108号 | 卯辰山公園健康交流センター千寿閣の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第109号 | 金沢市児童館の指定管理者の指定について | 可決 |
| 議案第110号 | 包括外部監査契約の締結について | 可決 |
| 議案第112号 | 平成30年度金沢市営地方競馬事業費特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第113号 | 平成30年度金沢市住宅団地建設事業費特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第114号 | 平成30年度金沢市駐車場事業費特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第115号 | 平成30年度金沢市国民健康保険費特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第116号 | 平成30年度金沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第117号 | 平成30年度金沢市介護保険費特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第118号 | 平成30年度金沢市発電事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第119号 | 平成30年度金沢市病院事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第120号 | 平成30年度金沢市中央卸売市場事業特別会計補正予算(第1号) | 可決 |
| 議案第121号 | 平成30年度金沢市下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 可決 |
| 議案第123号 | 財産の処分について | 可決 |
| 議案第124号 | 市道の路線認定について | 可決 |
| 議案第125号 | 市道の路線変更について | 可決 |
| 議案第128号 | 金沢市固定資産評価員の選任につき同意を求めるについて 相川 一郎氏 | 同意 |
| 議案第129号 | 金沢市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるについて 吉田 和信氏 | 同意 |

◇議員提出(議案7件中4件)

| | | |
|----------|----------------------------------|----|
| | 天皇陛下御即位30年の賀詞の奉呈 | 可決 |
| 議会議案第29号 | 加齢性難聴者に対する補聴器購入を支援する制度の創設を求める意見書 | 可決 |
| 議会議案第30号 | 適正な統計調査を行うことを求める意見書 | 可決 |
| 議会議案第31号 | 食品ロス削減に向けたさらなる取り組みを求める意見書 | 可決 |



賀詞を読み上げる清水邦彦議長

このたびの天皇陛下の御即位三十年を祝し、本市議会として慶賀の意を表するため次のとおり賀詞を奉呈しました。

賀詞

天皇陛下におかせられましては、本年、御即位三十年をお迎えになられ、まことに慶賀にたえないところであります。

天皇陛下、皇后陛下の万歳をことほぎ、ここに金沢市議会は、市民とともに謹んでお祝いを申し上げます。

平成三十一年三月一日
金沢市議会

常任委員会の要望事項

3月22日の本会議において、平成31年度予算に係る議案が全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決されました。本会議での採決に先立ち、各委員長による委員長報告が行われ、下記のとおり要望事項が付されました。



総務常任委員会

高 誠委員長

1 本年夏に竣工予定の谷口吉郎・吉生記念金沢建築館を最大限活用し、本市が持つ多様な建築文化の魅力を発信するとともに、金沢建築館自体が市民に愛される建築物となるよう展示内容の充実などに積極的に取り組まれない。

2 交通実験の実施など公共交通のさらなる利用促進に取り組むとともに、バス交通における快適性の向上にも取り組まれない。また、次期まちのりの選定に当たっては、公共交通の補完機能という観点を重視するとともに、利用者の利便性がこれまで以上に高まることを十分考慮されたい。

3 4月からの宿泊税の導入に向けて、観光客のみならずビジネス客や宿泊事業者に混乱等が生じないよう万全を期すとともに、条例等に基づいた公平かつ適正な制度運用に取り組まれない。



経済環境常任委員会

喜多浩一委員長

1 地域経済の持続的発展に向けて、多様な人材の活躍促進や労働生産性の向上等に向けた環境づくりを推進する「金沢版働き方改革推進プラン」に基づき、各種施策を計画的に進めることで、本市の強みを磨き高め、生涯にわたり働きやすいまち金沢を目指すとともに、国の内外から、人、モノ、情報等と呼び込み、新産業を創出する「価値創造拠点」の整備を推進するなど、働き方改革の実現と生産性の向上に全力で取り組まれない。

やエリア周辺に求められる機能、民間活力の導入のほか、整備におけるさまざまな観点からの安全対策等について精力的な検討を行われたい。また、若年層や女性など地域農業における多様な担い手の育成に努めるとともに、加賀野菜のそれぞれの旬の市民向けPRを初めとした、金沢産農産物のブランド力向上など、「金沢の農業と森づくりプラン2025」の具現化に尽力されたい。

3 指定ごみ袋収集制度の開始により、ごみ量に大きな削減効果が見られることから、新たに実施する食品ロスの削減に向けたフードシェアリングモデル事業や、フードドライブ受付窓口の拡大、生ごみの堆肥化のさらなる促進のほか、雑紙の資源化に向けた、より効果的な周知を図ることで、さらなる減量化・資源化に取り組まれない。



市民福祉常任委員会

秋島 太委員長

1 新年度に新たに設置する「こども未来部」については、地域の宝であり、社会の宝である子ど

もに関するさまざまな施策を総合的に推進するための重要な役割を担うことから、市民の期待にこたえる政策の実行を求めるものである。社会全体で次代を担うたくましく心豊かな子どもたちを育てていくためにも、10月に控える幼児教育・保育の無償化に向けて万全の体制を期すとともに、さらなる子育てニーズへの迅速かつ適切

な対応を図るために、保育所や放課後児童クラブ等に関する支援の充実を図られたい。

2 子どもの貧困対策基本計画に基づく取り組みが具体的に始まることから、教育や保健、福祉の現場やさまざまな地域団体と連携して、困難を抱える子どもが必要とする支援に行き届くように努められたい。

3 市政の推進に欠かすことができない地域団体

において、住民の信頼を裏切るような事案が生じたことから、団体の信頼の回復や適正な運営の確保に向け、市として必要な支援を行われたい。また、さまざまな部局においてかかわりを持ち、地域を支えている各種団体と市との連携のあり方について検証し、地域コミュニティーのさらなる活性化に向けて努められたい。



建設企業常任委員会

源野和清委員長

1 放置されている危険な空き家への対策に当たっては、近年急増していることを踏まえ、市民からの相談に対して迅速に対応できるよう体制の強化を図るとともに、新たに作成した空き家等対応マニュアルに基づき、所有者等が自主的に解決を図るよう指導や助言による対応を基本としながらも、周辺地域における住民の安全・安心な暮らしの保全を第一に考え、適正かつ迅速に対応されるよう取り組まれたい。

2 総合治水対策の実施に当たっては、住民が身近に迫る危険を認識し、避難行動につなげるなど、水防意識の浸透と自助・共助力の向上等を図

るため、水害リスクの十分な周知に努めるとともに、高齢者等の要配慮者が利用する施設に対する避難確保のための支援を行うほか、水防・避難体制を強化するなど、次期金沢市総合治水対策実施計画に基づく具体的な施策に鋭意取り組まれたい。

3 自由化が進むガス事業及び発電事業においては、新規事業者の参入など、外部環境の変化を十分に見きわめつつ、中長期的な財務状況を見据え、今後の経営形態のあり方を検討されるよう取り組まれたい。

4 美しい眺望景観の形成に当たっては、市民や事業者の意識の高揚が図られ、眺望景観形成条例の制定に伴う支援制度が積極的に活用されるよう制度の周知に努めるほか、今後もすぐれた眺望点の指定を検討するなど、金沢らしい魅力あふれる美しい景観の創出に、より一層取り組まれたい。



文教消防常任委員会

麦田 徹委員長

1 節目となる第5回金沢マラソンに向けては、これまでの経験やノウハウを生かし、さらに成熟したイベントとなるよう努められたい。また、金沢21世紀美術館においては、観覧料金値上げや長期休館についての周知を徹底して理解を求めるとともに、快適な鑑賞環境の提供に努められたい。

2 全国的に大規模地震や記録的豪雨などの自然災害が多発していることから、これまで以上に市民に対して防災意識を持つことの重要性を啓発するとともに、危機管理センターの開設に向けて万全を期されたい。

3 小中学校の普通教室へのエアコン設置に当たっては、児童・生徒の安全・安心及び快適な教育環境の観点からも、できるだけ早く設置されるよう努められたい。また、長土塀青少年交流センターについては、次代を担う青少年の健全育成や交流活動の拠点として利活用しやすい施設となるよう留意されたい。

4 学校は、いじめや児童虐待に起因する子どもからのシグナルを敏感に察知し、適切な対応に努めるとともに、教育委員会や関係機関との連携を密にして、問題解決に取り組まれたい。

5 新たな高機能消防指令システムの運用に当たっては、多種多様な消防需要に的確に対応し、広域連携による消防救急体制の強化を図ることで、より高い安全・安心を市民に提供されたい。

都市間交流について

本市は、他都市と観光交流や友好交流などの協定を締結し、互いに訪問して都市間の交流を深めています。市議会においても、交流協定都市を訪問し、議員相互に意見交換を行い交流を深めるとともに、さまざまな行政課題を解決するための調査、研究を目的とした行政視察を行っています。

1月から2月にかけて、本市議会から高崎市（群馬県）、文京区（東京都）、板橋区（東京都）、目黒区（東京都）、豊田市（愛知県）及び岡崎市（愛知県）の各議会を訪問して行政視察を行い、互いに都市が発展していく方策について議論を交わしました。



高崎市訪問
～シティプロモーション事業の
取り組みについて視察（高崎アリーナ）～



目黒区訪問
～区議会BCP等について意見交換～



豊田市訪問
～スポーツ国際大会を通じたまちづくり
について視察（豊田スタジアム）～

議会日誌

1月

- 16日 建設企業常任委員会
- 21日 総務常任委員会、文教消防常任委員会
- 22日 議会広報委員会
- 25日 市民福祉常任委員会
- 31日 経済環境常任委員会

2月

- 1日 文教消防常任委員会、議会運営委員会
- 13日 総務常任委員会
- 15日 建設企業常任委員会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 市民福祉常任委員会
- 27日 経済環境常任委員会
- 28日 議会広報委員会

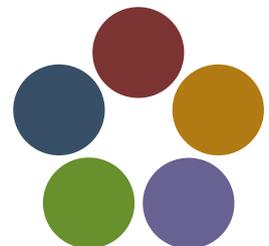
3月

- 1日 金沢市議会3月定例会月議会初日
本会議（議案上程・提案理由説明）
議会運営委員会
- 5日 議会運営委員会
- 8日 議会運営委員会
- 11日 本会議（質疑・一般質問）
防災・安全対策特別委員会
- 12日 本会議（質疑・一般質問）
議会運営委員会
- 13日 本会議（質疑・一般質問）
議会運営委員会
- 14日 各常任委員会、議会運営委員会
- 15日 本会議（補正関係討論・採決）
各常任委員会
- 19日 常任委員会連合審査会、議会運営委員会
- 20日 各常任委員会、議会運営委員会
- 22日 本会議（討論・採決）

金沢市議会3月定例会月議会最終日
平成30年度定例会金沢市議会閉会

かなざわ市議会だよりの基本色について

本紙に使用している色は、古くから加賀友禅にも使用されてきた金沢独特の色合いである「加賀五彩」の臙脂（えんじ）・藍・黄土・草・古代紫の5色を基調としており、3月定例会月議会号は黄土色を基本色としています。



加賀五彩

議会広報委員会

- 【委員長】野本 正人 【副委員長】上田 雅大
【委員】広田 美代 源野 和清 麦田 徹
 澤飯 英樹